

家庭科（家庭基礎）学習指導案

指導者 教諭 白濱真紀子

- 1 履修単位数 2単位
- 2 実施日時 平成28年10月28日（金）第5時限
- 3 学 級 46HR（40名）
- 4 使用教科書 家庭基礎 パートナーシップでつくる未来(実教出版)
- 5 単 元 名 消費行動を考える
- 6 単元設定の理由

消費生活を取り巻く環境が多様化・複雑化している中、合理的な意思決定ができる自立した消費者であることはもちろんのこと、公正で持続可能な社会の実現のために行動できる消費者になることが求められている。しかし生徒は、自分も一消費者であるということや、自分の消費活動が世の中と繋がっているという自覚が希薄であるように思われる。そこで、一人ひとりの消費行動は企業に対して自らの意思を表すことであり、社会を変えることにも繋がるということを理解させ、消費者市民社会の一員として社会を生きる実践力を身に付けさせたいと考えこの単元を設定した。

7 単元の目標

- ・消費生活の現状と課題や消費者の権利と責任について理解させ、適切な意思決定に基づいて行動することができる。
- ・生活と環境とのかかわりについて理解させ、持続可能な社会を目指して自らの生活意識やライフスタイルを具体的に見直すことができる。

8 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかかわりについて関心をもち、自立した消費者として行動しようとしている。	消費行動と環境とのかかわりについて、生活と関連させながら課題をみつけ、解決の方向性を判断し、表現している。	消費行動について、さまざまな情報を収集・整理することができる。	消費者の権利と責任などについて理解し、適切な意思決定に基づいて責任をもって行動できるように必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。

9 指導と評価の計画(7時間)

- 第1次 社会の変化と消費生活・・・・・・・・・・2時間
- 第2次 消費者の権利と責任・・・・・・・・・・2時間（本時2／2）
- 第3次 持続可能な社会環境・・・・・・・・・・1時間
- 第4次 経済のしくみを知る・・・・・・・・・・1時間
- 第5次 ライフステージと経済計画・・・・・・・・1時間

	【ねらい】・学習活動	評価の観点				評価方法
		関	思	技	知	
第1次	多様化する販売方法や、消費者信用の内容を理解するとともに、契約社会における消費者としての自覚と責任について考える。	●	●		●	ワークシート
第	消費者問題の背景と消費者関連の法律を知					

2次	るとともに、消費者の権利と責任を正しく理解する。		●		●	ワークシート
第3次	日々の生活を見直し、地域・学校・家庭・個人でできる環境保全を考え、実践する。	●	●	●		ワークシート
第4次	毎日の生活とお金のかかわりについて考えるとともに、家庭経済と国民経済の関係を理解する。			●	●	ワークシート
第5次	家族構成、ライフスタイル、ライフステージと生活費のかかわりについて理解するとともに、自己の生活にあった家計管理の方法が工夫できるようにする。			●	●	ワークシート

10 本時の指導目標

- ・自らの消費行動が社会や環境に影響を与えることを理解し、消費者として適切な意思決定ができる。

11 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を確認する。 ・本時の目標を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「エシカル消費」の定義と自分達の消費行動について確認させる。 ・本時の目標を示す。 		
自分達ができるエシカル消費について考えよう。				
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ・「エシカル消費」について、ワークシートにしたがってグループで話し合う。 ・他のグループの意見を参考に自分達の考えをさらに深める。 ・商品を取りまく様々な問題について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・態度目標を示す。「しゃべる」「チームで協力する」「チームに貢献する」 ・各グループの成果物を確認し、自分達の考えを補足するよう指示する。 ・商品選択における様々な視点について例示する。 		
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の内容を振り返り、ワークシートをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な意思決定に基づき消費行動を取ることが、社会を変えていく力になることに気付かせまとめとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの消費行動が社会や環境に影響を与えることを理解し、消費者として適切な意思決定ができる。(思考・判断・表現) 	ワークシート